

OTS-Monitor検体の取り扱い

【A】 抽出済みDNA

■DNA溶液検体の要件

- ▷溶媒：TE bufferまたは同等品
- ▷DNA量：5-10ng/変異 以上（解析変異数に応じた総量を準備）
- ▷NA濃度：0.5ng/μL以上
- ▷液量：20μL以上
- ▷DNA濃度測定方法（機器・キット・測定日）を共有

■注意事項

- ▷サンプル間のクロスコンタミネーションに注意

■発送条件

- ▷輸送全行程において-20℃以下を維持

■推奨キット

- ▷QIAGEN, QIAamp DNA Mini Kit (#51304)
- ▷ニッポンジーン, ISOSPIN Tissue DNA Kit (#316-08891)



DNA濃度 $\geq$ 10ng/変異

【B】 血漿

■分離方法

- ▷8-10ml採血管を用い、採血後直ちに常温・1800g・20分遠心
- ▷4-5ml程度の血漿を新しい15mlチューブへピペットにて移送
- ▷再度、常温・1800 g・20分遠心
- ▷チューブ底面のペレットに触れないよう血漿をクライオバイアルへピペットにて移送
- ▷直ちに-80℃で保存

■注意事項

- ▷有核細胞の混入を防ぎ、正確な血中腫瘍組織由来DNA比率を維持

■発送条件

- ▷輸送全行程において-20℃以下

■推奨品

- ▷Simpor, Cryovial Silicone O-Ring Seal and Internal Threads, 5 ml Tubes Round Bottom (T301-5)



Simpor社製
クライオバイアル5ml

OTS-Monitor検体の取り扱い

【C】 全血

■採血

- ▷ Streck社製Cell-Free DNA BCT®を使用し、8–10ml採血
- * 同採血管の使用不可の場合は、血漿分離（【B】 参照）

■発送条件

- ▷ 常温輸送・冷蔵不可
- ▷ 採血後5日以内に指定場所に到着
- ▷ 採血管の破損防止のため適切に梱包

■推奨品

- ▷ Streck, Cell-Free DNA BCT (STM-230570)



Streck社製Cell-free
DNA Blood Collection Tubes

◆OTS-Monitorでは、血漿DNAだけでなく凍結・FFPE組織由来のDNAでもデジタルPCRが可能です。

【D】 凍結組織

OTS-Monitorでは、目的に応じて、血漿DNA以外に凍結組織由来DNAも使用できます。

■必要量

- ▷ 腫瘍組織：5–15mm³（約6–17mg：米粒の半分程度）

■発送条件

- ▷ 輸送全行程において–20℃以下
- ▷ 凍結組織は返却不可

■推奨品

- ▷ Thermo Fisher Scientific, Nunc™ Biobanking and Cell Culture Cryogenic Tubes (#377267)



Thermo Fisher Scientific社製
クライオチューブ1.8ml

OTS-Monitor検体の取り扱い

【E】 生検FFPE検体

■推奨

FFPEブロックの保管期間：1年未満

■条件

▷ 未染標本を用意可能な場合

1. 未染標本（8 μ m）3枚

A) スライドあたり5-6個以上の
生検検体（各2-3mm）



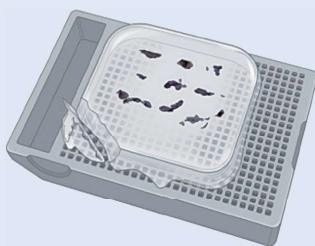
B) 腫瘍が少ない場合：

総組織量が50mm³に達するまで
未染枚数を追加すること

2. 同一ブロックの最終切片を用いた
H&E染色標本1枚（病理標本番号
記載）

▷ 未染標本を用意できない場合

1. FFPEブロック1～2個
（主要ブロック）



2. H&E染色標本1枚（病理標本番号
記載）

3. 病理診断報告書のコピー

【F】 手術FFPE検体

■推奨

FFPEブロックの保管期間：5年未満

■条件

▷ 未染標本を用意可能な場合

1. 未染標本（8 μ m）2枚

A) スライドあたりの腫瘍面積：
25mm²以上（トリミング後）



B) スライドあたりの腫瘍面積：

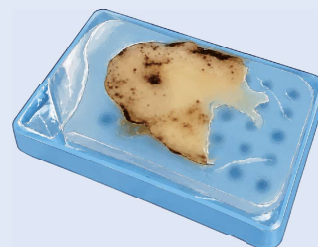
25mm²未満の場合：

総組織量が50mm³に達するまで
未染枚数を追加すること

2. 同一ブロックの最終切片を用いた
H&E染色標本1枚（病理標本番号
記載）

▷ 未染標本を用意できない場合

1. FFPEブロック1～2個
（主要ブロック）



2. H&E染色標本1枚（病理標本番号
記載）

3. 病理診断報告書のコピー

OTS-Monitor検体の取り扱い

【E】【F】 共通の注意事項

■ 基本事項

- ▷ 提出されたH&E標本は返却不可
- ▷ 未染標本スライドには病理標本番号および通し番号（枝番号）のみ記載（患者氏名など個人情報は記載しない）
- ▷ 貸与ブロックは1～2か月後に返却
- ▷ 標本作製費および送料は依頼元施設負担
- ▷ 発送は室温

■ 作製済み標本に関する確認点（作製時の条件）

- ▷ 固定：10%中性緩衝ホルマリン
- ▷ 骨検体：EDTA 脱灰のみ
- ▷ 腫瘍細胞率：30%以上（トリミング可）
- ▷ スライド貼付：最大2枚まで可
 - * 複数貼付した場合は依頼書にその旨を記載
- ▷ 加熱伸展は避け、常温管理

■ コンタミネーション防止

- ▷ ミクロトーム刃を新品に交換
- ▷ 新品グローブを使用
- ▷ 水槽の水を新しいものに交換